

情報収集衛星について

1. 目的

外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的として、情報収集衛星を導入する(平成10年12月22日 閣議決定)

➡ 国民生活の安定・安全を確保するための情報の収集・分析に重要なツール

2. 構成

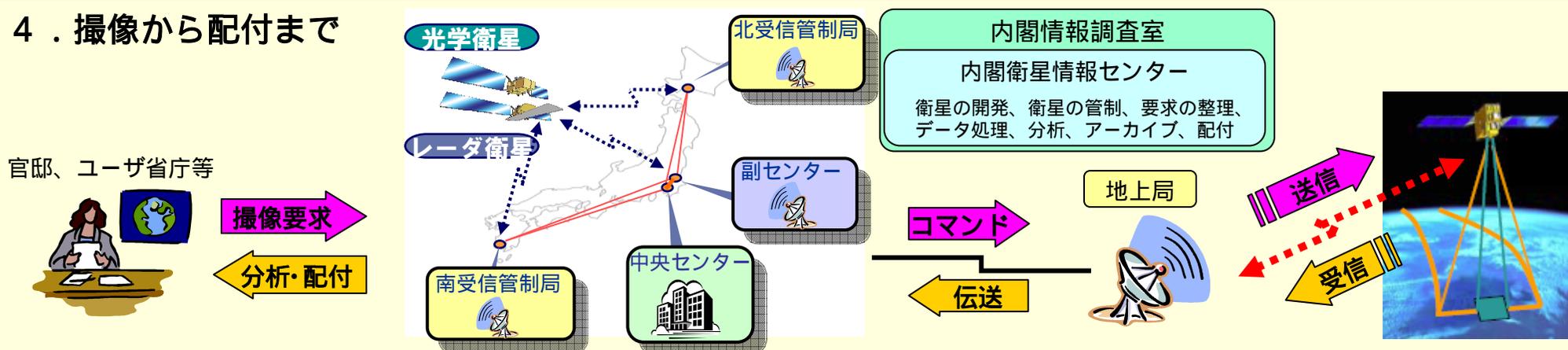
光学衛星 2 機、レーダ衛星 2 機の計 4 機体制で、地球上の特定地点を、光学衛星、レーダ衛星各々 1 日 1 回以上撮像することを当面の目標とする。

3. 特徴

光学衛星 : 地表からの光を検出し、一般の写真に似た画像を取得。夜間や悪天候時には撮像不可。

レーダ衛星 : 電磁波を放射し、反射を捕捉して、レーダ画像を取得。夜間や悪天候時の撮像も可能。

4. 撮像から配付まで



5. 衛星開発の考え方

情報収集衛星の継続的な運用の確保のため、衛星の設計寿命(5年)、衛星の開発に要する期間(約7年)、後継の時期等を踏まえ、長期を見据えたスケジュールに基づき、順次開発を行う必要がある。

商業衛星を凌駕する性能の衛星を開発し、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。